

「最前線看護と看護実践報告会」

2022年、脳動脈瘤によるくも膜下出血術後の脳血管攣縮抑制にピヴラッツ（クラゾセンタン）が承認されました。ピヴラッツは、従来の薬剤とは異なり体液貯留、貧血や頭蓋内出血などの重篤な副作用に注意する必要があり、看護師には厳密な観察やモニタリングをする中での難しい看護実践が求められています。そこで、今年度は会員の中からも要望のあった最前線の治療を受けているくも膜下出血患者への看護について、実践事例を交えての講義を企画すると共に、会員交流の場として看護実践報告を行うことに致しました。

皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時：2025年11月29日（土） 13:30～17:00

会場：大阪産業創造館

スケジュール

13:00 ～受付開始・開場

13:30 ～ 開会

13:35 ～15:05 「くも膜下出血患者の看護 ー最前線ー」

講師：池田 美香氏（国立循環器病研究センター）

（休息）

15:25～16:15 看護実践報告

16:25～ 閉会

定員：80名（先着順）申込方法：※事前申し込み QRコード・URL



<https://docs.google.com/forms/d/1NedNfTbjSFtwLNF10bkHk8ZGNU252QeCAKL6EkYUk8A/edit>

参加費：日本脳神経看護学会関西地方部会会員 無料

他の地方部会会員及び非会員 1000円（当日徴収）

<主催 一般社団法人日本脳神経看護学会 関西地方部会>